



# りとせ相模大野こども園

子育て支援広場 子育て情報 令和5年7月号



雨の季節になりましたが、子ども達はダンゴムシやカタツムリなど身近な自然に親しみながらたくさんの発見を楽しんでいます。

りとせ相模大野こども園では、子育て支援や交流を行いながら、地域の子育て世代の親子と園児が楽しく過ごす機会を提供しています。毎週水曜日・木曜日は園庭開放日となっています。園児たちと一緒に遊んでみませんか。ご利用をお待ちしています。

※ご利用の際は、事前にご連絡をお願いいたします。

月	地域交流（予定）
4月	絵本読み聞かせ
5月	シャボン玉で遊ぼう
6月	小麦粉ねん土であそぼう
7月	給食試食会
8月	夏祭り
9月	運動会
10月	ハロウィン
11月	保育ウィーク
	(お店屋さんごっこ)
12月	サンタをつくろう
1月	伝統あそびを楽しもう
2月	ひな祭り製作
3月	ひな祭り会

※内容と日程が決まりましたらその都度ご案内いたします。早めに予定を確認したい場合は、園にご連絡ください。

## どうして散らかすの？

床に散らかっていた時には見向きもしなかったのに、棚に片付けると散らかしに来ることってありませんか。子ども達は、どうして散らかすのでしょうか・・・それには理由があるのです。

乳幼児期は、手や体を使って自然や物の性質を学んでいきます。つまり、物に触ることが乳幼児の学習形態なのです。例えば、積み木がきちんと積みあがっている時、触ってみたらバラバラと崩れ形が変わった、また、崩れる時に音がしたなどの大発見をします。科学的な思考が働き因果関係を学んだとも考えられます。

もちろん個人差はありますが、おおむね0～2歳頃は秩序を壊すことを何度も繰り返して楽しみ、2～4歳頃には作っては壊す試行錯誤を繰り返し、4歳ころから何かを「つくる」へと発達していきます。

子どもが働きかけると動いたり、形や音が変わったりとコミュニケーションのとれる玩具や遊びを選んでみてください。また、何度もやり直したり繰り返したりして楽しめるの良いですね。

「手は突き出た大脳」とも言われるそうです。起きている間ずっと手や体を使って脳を刺激しているとも考えられます。

毎日続くと辛いですが・・・散らかった部屋を見た時に、今日もしっかり脳が育ったと受け止められると良いですね。

## 育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか？りとせ相模大野こども園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-16-18

TEL 042-705-4500